

Club BUSINESS FARMERS

『農業経営者』読者の会 会報

CONTENTS

海外視察ツアーのご案内

第24回・第25回定例セミナー報告

忘年会・共同出展のご案内

定例セミナーのご案内・参加申込書

Vol.16 2008年12月1日発行

■発行・編集／(株)農業技術通信社『農業経営者』読者の会 事務局（担当：長谷川）
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698



海外視察ツアーのご案内



厳冬期の ウラジオストック だから見える Made by Japanese の可能性

月刊『農業経営者』編集長の昆吉則です。一緒に真冬のウラジオストックに行きませんか。日程は2月1日からの5日間、厳冬期のロシア沿海州です。そこで考える Made by Japanese の切り口は二つです。一つは、日本品種によるコメ生産。もう一つは、日本イチゴによる観光摘み取り園。そして、日本農業の常識から自由になることです。

10月の終わりに、私が現地に行きました。沿海州ではどこに行っても広葉樹林が広がっていて、夏の高温と土壌の肥沃さを感じさせます。稲作が行われているのは、ハンカ湖の周辺とホロリ地区。古くからの稲作地帯で、灌漑の通った放棄された水田も沢山あるそうです。当然、2月に作物の様子は見えませんが、生産の現状を知るために、現地の経営者や沿海州農業局への視察や面談を予定しています。

次に、日本イチゴの観光摘み取り農園の可能性です。同地域の冬季の日照の多さと、豊かさが広がりつつあるマーケットの性格、そこに観光農業のビジネスチャンスを考えています。ウラジオストックは人口60万人、沿海州全体でも人口200万人、マーケットとしては小さい。しかし、人々の消費意識は成長する社会のそれです。ところが冬季に人々を喜ばせるエンターテインメントビジネスは、ほとんどありません。そんな中で厳寒の冬に、あのイチゴハウスの暖かさ、芳醇な香りのなかで初めて食べる日本イチゴ。それはきっと人々に歓迎されるはず。農園立地の場所やビジネスパートナーの問題も、視察中にご紹介します。詳しい資料をご希望の方は、この会報の参加申込書で資料請求下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

第24回定例セミナー報告

誰が「比内地鶏」を創るのか？〜地域ブランドのあるべき姿を問う〜

(有)秋田高原フード 大塚智哉氏

お面を被ったものが動き出しています

「クラシックのないモダンはない。今あるブランドがモダンとして確立する迄には、必ずクラシックがあります。ところが今、クラシックがない借り物の「認証比内地鶏」というお面を被ったものが動き出しています」

10月24日の定例セミナーでは、本誌08年8月号「新・農業経営者ルポ」で紹介した秋田高原フードの大塚智哉氏を講師にお話を頂いた。比内地鶏の問題を簡単にまとめると、07年の比内地鶏の偽装事件後、秋田県が急遽、比内地鶏についてのブランド認証制度の準備を進めたことで、それを扱う業界に混乱が広がっていることだ。

何をもって比内地鶏とするのか？

県は「血統」と「飼育方法」とした。血統のお墨付きはDNA鑑定で決める。ところがもともと比内地鶏の雛鳥として70%のシェアのあった秋田高原フード系の品種は、DNA鑑定ができない。その一方で秋田県畜産試験場が作った品種だけがDNA鑑定ができる。また、地鶏は放し飼いのものと決まった。衛生と安全のためにケージ飼っている同社の鶏は、比内地鶏と

は認められなくなった。

人々が長年食べて美味しいと認めてきたものが地域ブランドだ。70%のシェアのあった雛鶏を排除して、「DNA鑑定ができる」から試験場の品種を認証するなど見当違いもはなはだし。ケージ飼いについても同じだろう。

複雑な話を聞くのも大切だが、やはり実際に食べてみようということで、セミナー会場は急遽バーベキュー会場に転換。都内有名パートの食品売場で売られていた「認証比内地鶏」と、秋田高原フードの比内地鶏の食べ比べを余興に、試食会兼懇親会に移行した。



試食結果は…ビールの進み具合から推測されたい。

第25回定例セミナー報告

日本の農林水産物を愛するお客様のために

〜1200張の「緑提灯」が灯るまで〜

(独)農研機構理事

中央農業総合研究センター所長 丸山清明氏

星の数は店主の心意気です



「専門はイネの品種改良ですが、酒飲みであります。呑兵衛の部分でこういう遊びをしています。ですから遊びとしてまず聞いて頂きたい」

11月7日の定例セミナーは、農研機構理事 中央農業総合研究センター所長の丸山清明氏に、『緑提灯』運動についてお話を頂いた。日本産食材の使用量が50%を超えるお店を『緑提灯』でアピールしようという運動である。05年春に北海道小樽1号店で始まった運動は全国に広がり、現在は1500店舗を越えている。「03年秋に北海道に赴任した際、さっそく北海道の食材を楽しもうとした

ら、意外に道産品が少なかった。自給率200%の北海道の飲食店で、道産食材が使われてないのでは、観光客や出張者がガッカリするのでは？」

と考えてこの運動を開始したという。日本産食材の提供量がカロリーベースで50%を超えれば星ひとつ、60%を超えれば星ふたつという具合で、90%を超えれば5ツ星提灯が掲げられる。「ただし星の数は店主の自己申告。星の数は店主の心意気です。認証制度ではありません。認証とは他人に認めてもらうこと、自主申告で自らの覚悟を示してもらえばいい。正直を重ねて信用を得ることが大切なんです」

『農業経営者』読者の会

忘年会

今年の忘年会では、本誌連載中「アグリ猫」でお馴染みの高橋がなり氏をゲストに招待します。まずは「いつも農家の前では遠慮しているので、経営者という土俵で本音で話させてもらいたい」という同氏のライブトーク、続いて本誌読者とのガチンコ舌戦！場外乱闘編へ。同氏の隠れファン派はもちろん、ひとこと物申したい派、様子見て考える慎重派、すかさず野菜を売り込む野心派など、皆様のご参加をお待ちしています！

日時 2008年12月15日(月) 16:00～20:00

会場 国立ファーム直営レストラン
農家の台所 くにたちファーム

住所 東京都国立市東1-16-17 ポポロビル南館3階

参加費 定期購読者:5,000円、一般:10,000円(共に飲食費込み)

主催 (株)農業技術通信社『農業経営者』読者の会 事務局

ゲスト



国立ファーム(有) 代表

高橋がなり氏

プログラム

- 16:00～17:00 **高橋がなり氏によるライブトーク**
「経営者という土俵で、本音で農業の話をする」
- 17:00～18:00 **高橋がなり氏&本誌読者のガチンコ舌戦！**
場外乱闘編 ※レフリーは本誌編集長 昆吉則
- 18:00～20:00 **懇親会**

共同出展参加者大募集!!

顧客開拓

自分の野菜は自分で売り込もう!!



9万人が来場するアジア最大の食品・飲料専門の展示会

FOODEX JAPAN 2009 第34回 **国際食品・飲料展** ufi Approved Event

会期：2009年3月3日(火)～6日(金) / 会場：幕張メッセ(1～8ホール)

共同出展とは…?

皆様の顧客開拓を支援するため、読者の会がまとめてスペース(小間)をとり、そのスペース内で皆様に商品の展示・商談をしていただきます。通常の出展費用の約80%OFF～で出展できます！

共同出展費用

- ・4日間出展……………150,000円(税別)
- ・4日間出展(角スペース)…200,000円(税別)
- ・2日間出展……………100,000円(税別)
- ・2日間出展(角スペース)…150,000円(税別)

※角スペースはお申込順です。

共同出展パッケージ内容

- ・商品紹介チラシ1,000枚
 - ・出展者・商品紹介パネル作成
- 参加者は農産物だけの準備でOKです！**

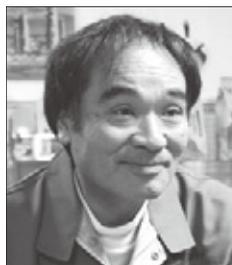
※通常の出展では小間代315,000円+造作費約200,000円かかります。共同出展だからできるこの価格+集客。この機会をお見逃しなく！！

第27回 **12月5日(金)** 16:00~18:00
 会場: (株)農業技術通信社内セミナールーム

農業経営者だからできる 機能性食品開発の可能性

昨年12月、福島県大玉村に団子屋「ままや」がオープンした。ただの団子ではない。生活習慣病に対する食事療法に有効とされる低タンパク米「LGCソフト」の団子だ。この品種はうるちだが、特殊な加工方法で餅と同じ食感にできる。また団子に加工すれば、周年で売れる。農業経営者による機能性食品開発の可能性の広がりや、そのパイオニアが紹介する。

(有)農作業互助会 代表取締役
鈴木博之氏 (すずき・ひろゆき)



PROFILE
 1950年福島県生まれ。76年機械の共同利用と作業請負の任意団体を設立。84年(有)農作業互助会を法人化。現在では低タンパク機能性米「春陽」や「LGCソフト」など6品種の生産と商品開発を軸に、コメの付加価値化販売を図っている。さらに仲間と組んで、自分達だけのオリジナル品種の開発も進行中。

第28回 **1月16日(金)** 16:00~18:00
 会場: (株)農業技術通信社内セミナールーム

フード業界の売れる営業とは？ 20,000名の営業マン支援でわかったこと

生産者や食品メーカーなど売り手企業と、百貨店や外食企業など買い手企業をネットで結び商談できる「FOODS Info Mart」。全国約5,000社、フード業界担当者20,000名が活用しているこのシステムをゼロから立ち上げ、数千社の売り手企業の営業マンをサポートしてきた村上勝照氏が、フード業界で求められる「売れる営業」をわかりやすく解説する。

(株)インフォーマート 代表取締役社長
村上勝照氏 (むらかみ・かつてる)



PROFILE
 1965年生まれ。百貨店のバイヤーが商談に苦勞していることに着想して、98年(株)インフォーマートを設立。インターネットを使った企業間電子取引プラットフォーム「FOODS Info Mart」を立ち上げる。06年東証マザーズに上場。現在、市場規模は月間取引高が約356億円、取扱商品は18万品目に達している。

◎セミナー参加申込

■参加を希望する項目にして、必要事項をご記入下さい。

月刊『農業経営者』
 定期購読者 **無料**

〈セミナー〉

〈セミナー終了後の懇親会〉

- 12/5 (金) 鈴木博之氏 (16:00~18:00) 参加 (18:00~20:00)
 1/16 (金) 村上勝照氏 (16:00~18:00) 参加 (18:00~20:00)

※セミナー受講料は定期購読者無料、一般参加者5,000円です。
 ※セミナー終了後には、懇親会(会費1,000円)を予定しております。

◎定期購読申込

■いずれかにして、必要事項をご記入下さい。

- 1年(12冊) **18,000円**
送料サービス!
 2年(24冊) **33,000円**
お得な3,000円割引!
 3年(36冊) **45,000円**
お得な9,000円割引!

※本誌セミナー(年22回)参加料込(一般5,000円/回)
 ※本誌セミナー全音声ダウンロード(年22回)込

◎忘年会参加申込 12/15 (月) (16:00~20:00) ゲスト: 高橋がなり氏 定期購読者: 5,000円
 一般参加: 10,000円 (共に飲食費込み)

◎共同出展資料請求 FOODEX JAPAN2009 (2009/3/3~3/6開催)

◎海外視察ツアー資料請求 厳冬期のウラジオストックだから見えるMade by Japaneseの可能性 (2009/2/1~5)

お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail	FAX	
<input type="checkbox"/> セミナー音声聴講パスワード希望		
ご住所 〒		

お申込方法 FAX 0120-410-359まで送信してください。
 (『農業経営者』HP <http://www.farm-biz.co.jp/> からもお申込できます)

お問合せ/ (株) 農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局 TEL 0120-555-184

※セミナーへの無料参加は、定期購読1件につき、1名様までです。2名様以上でお申込される場合、2人目より2,000円をいただきます。予めご了承下さい。